

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

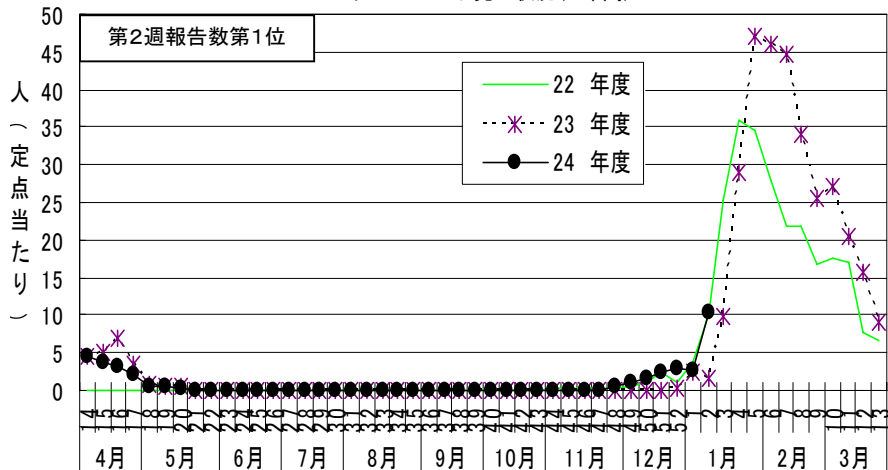


平成25年1月7日（月）～1月13日（日）〔平成25年第2週〕の感染症発生状況

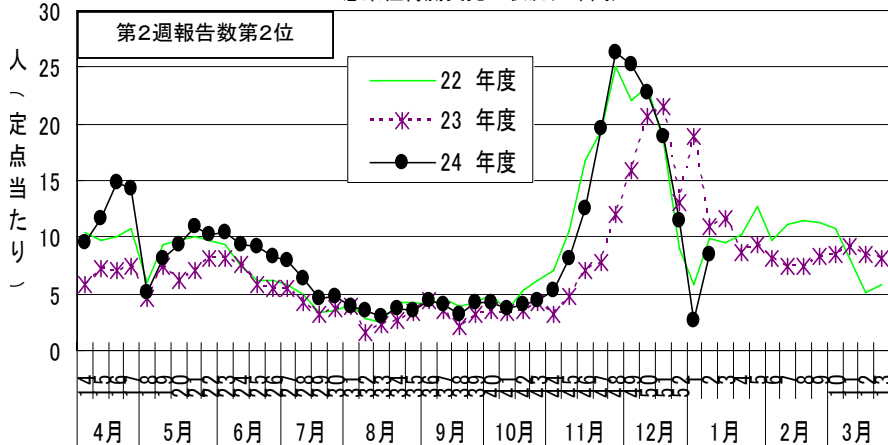
第2週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘でした。
 インフルエンザは定点当たり10.37人と前週（2.54）より患者報告数は大幅に増加し、流行発生注意報基準値（定点当たり10人）を超えました。
 感染性胃腸炎は定点当たり8.55人と前週（2.67）より患者報告数は増加しましたが、例年よりやや低いレベルで推移しています。
 腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（推定感染経路：不明、推定感染地域：国内）ありました。

お詫び 平成25年1月9日発行(平成24年第52週・平成25年第1週分)の本紙中 「感染性胃腸炎発生状況(3年間)」の22年度のグラフに訂正がありました。※一部訂正が反映された発行物もあります。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



『インフルエンザ』流行発生注意報発令！！

川崎市内における第2週のインフルエンザ報告数が定点当たり10.37人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10人）を超えました。

今後の大きな流行に備え、手洗い・うがい及び咳エチケットなどの予防対策を徹底することが重要です。

	インフルエンザの特徴
流行シーズン	12～3月頃に流行のピークがあることが多い。
病気の経過は？	典型的には突然の発熱で始まり、38℃を超える高熱となる。
症状は？	高熱、悪寒、頭痛、鼻水、関節痛、咳など
発熱は？	高熱（38～39℃以上）、通常の風邪より高い熱が出る。
潜伏期間は？	1～3日間



インフルエンザにかからないために気をつけたいこと

- ①外出から帰ったら手を洗い、うがいをしましょう。
- ②外出する時は、マスクを着用しましょう。
- ③不必要な外出はやめて、できるだけ人ごみを避けましょう。
- ④加湿をしましょう。
- ⑤十分な休養とバランスのよい食事をとり、健康管理に気をつけましょう。



うがい手洗いで風邪予防